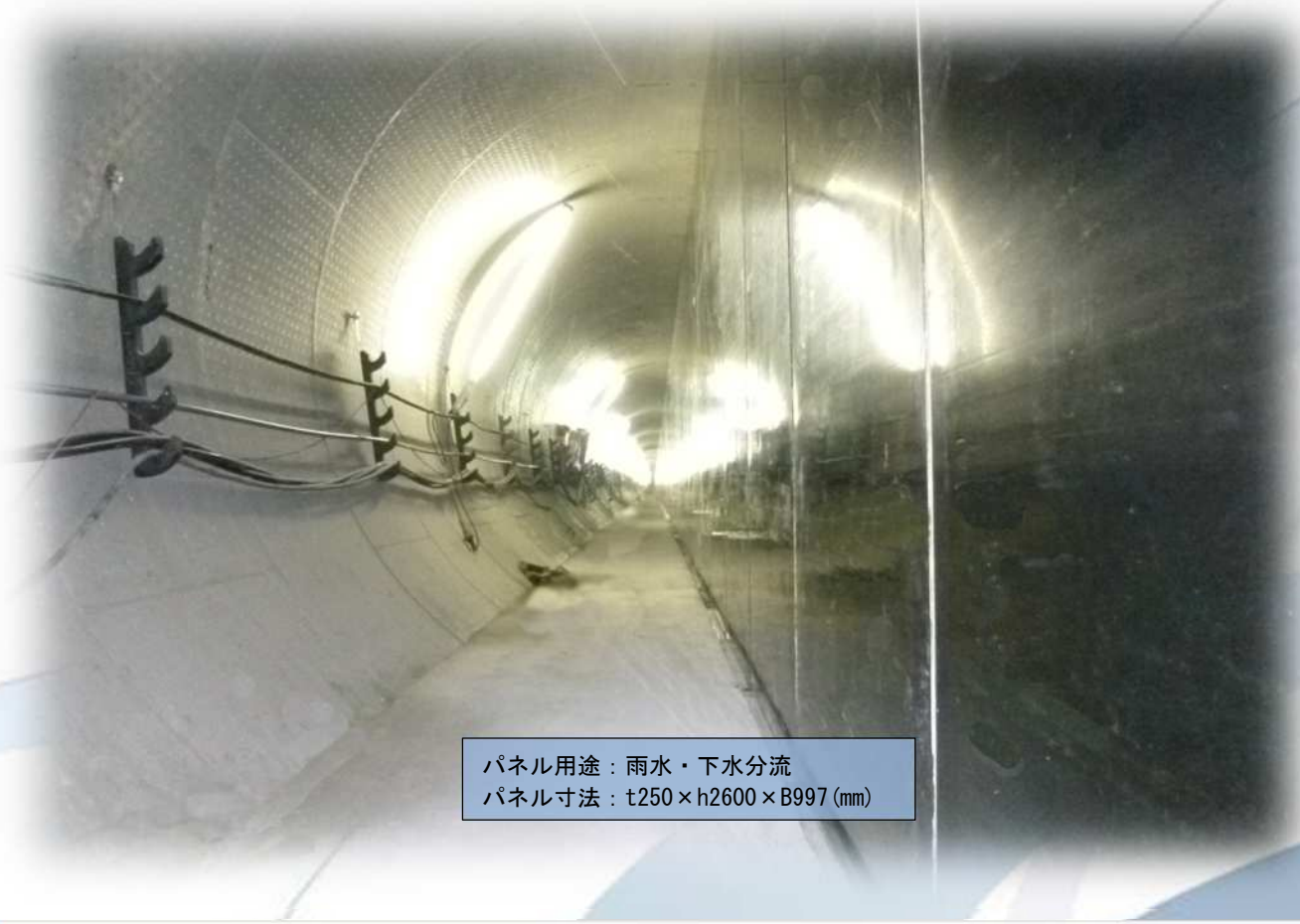
プレキャスト背割板　Φpanel

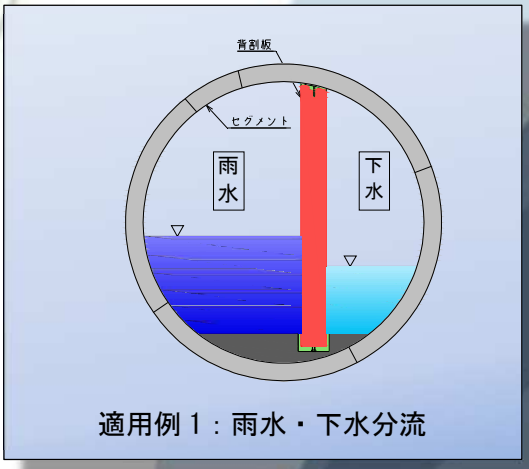
―トンネル断面を分割するプレキャスト部材―



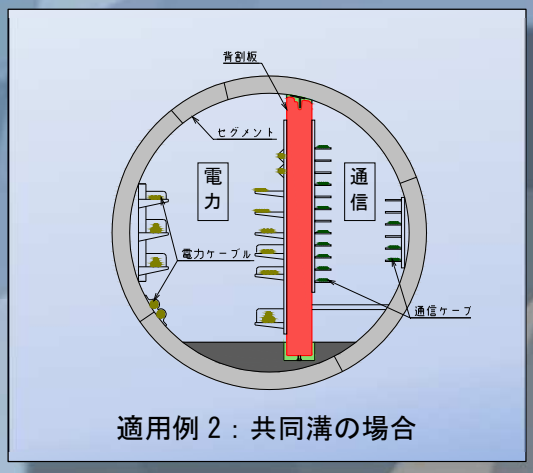
パネル用途：雨水・下水分流
パネル寸法：t250×h2600×B997(mm)

概 要

シールド工法で構築されたトンネルの内部に構築するプレキャスト製の背割板です。背割板をプレキャスト化することにより、狭隘なトンネル坑内での型枠設置、配筋、コンクリート打設、型枠解体作業、コンクリート品質管理作業が不要となり省力化が可能となります。また、セグメントと同様に徹底した管理のもと工場で製造されるため優れた品質のトンネルの構築が可能となります。
プレキャスト製の背割板の用途として、雨水・下水の分流、電力や通信の併設使用、共同溝の仕切りに適用できます。



適用例１：雨水・下水分流

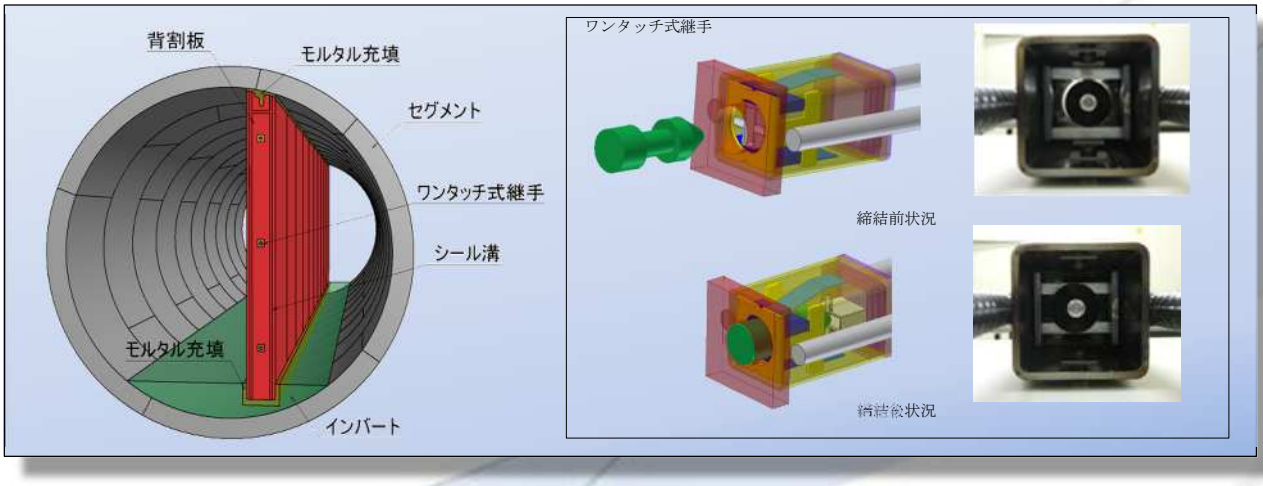


適用例２：共同溝の場合

株式会社ＩＫＫ

構造の特長

雨水や下水の場合、トンネルの耐久性向上や流下抵抗の減少を目的とした樹脂パネルを表面に配置することも可能です。セグメントと同様のコンクリート強度により壁の厚さを小さくすることが可能であり、トンネル内空断面を有効に利用することができます。
電力や通信の場合、収容ケーブルラックの固定に必要なインサートはプレキャスト製品であるため予め内蔵されており、あと施工アンカーの施工が不要となります。



組立施工

背割板の組立施工は、セグメント供給台車の往来や切羽への資材供給が終了後のシールドマシン到達後に実施されます。背割板は供給台車や自走で設置場所まで移動し、高さ調整の後、ワンタッチ式の締結金物によりパネル相互が締結されます。








構造計算

トンネルに作用する土圧や水圧、上載荷重はセグメントが負担します。背割板には雨水・下水の場合、トンネル内部の水圧が作用する単純ばりとして計算を実施します。電力通信などの場合、収納されるケーブルの自重を考慮して構造計算を実施します。

この製品に関する
お問い合わせ先

株式会社ＩＫＫ
東京都千代田区麹町 5-1（麹町弘済ビルディング）
TEL：03-6271-7265